

令和7年度 となみ芸術文化友の会 総会、コンサート終了報告

令和7年5月31日（土）午後4時より、「令和7年度となみ芸術文化友の会総会」を砺波市美術館2階市民アトリエにおいて開催し、令和6年度事業報告、決算報告並びに令和7年度事業計画案、予算案についてご審議いただき議案全て原案のとおり承認されました。（総会資料をご希望の方は事務局へお申し出ください。）

なお、総会終了後に公開コンサートを開催したところ、60名のご来場があり、普段聴き慣れない分野との声もあったジャズ音楽をお楽しみいただきました。



公開コンサート 『JNM JaZZ Quartet コンサート』



出演者（写真右より）
稲垣 英晴さん（ドラムス）
本田 和正さん（テナーサクソス）
中村 信夫さん（コントラバス）
荒川 陽介さん（ピアノ）

コンサート前のリハーサル風景



音に聴き入る来館者の方々



客席にいらしたボーカリストを交えての演奏

令和7年度 となみ芸術文化友の会会員募集中

一般会員（ 3,000円）
特別会員（10,000円）

となみ芸術文化友の会は、砺波市文化会館・砺波市美術館の活動をサポートしながら、芸術鑑賞などの活動を通して会員の教養・親睦・交流を深めることを目的とした団体です。

友の会にご入会いただくと、砺波市文化会館・砺波市美術館の催物や企画展に会員に限り受けられる特典もあり、現在、砺波市文化会館から、11月22日（土）に開催の「ウルフルズライブツアー 2025-2026 ツーツーウラウラツ シーズン2」チケットの先行販売・割引適用の案内、砺波市美術館から、7月31日（木）から9月15日（月・祝）開催の「林清納追悼展」常設展観覧チケット引換券が進呈されます。

令和7年度は、入会された日より令和8年3月31日までの有効期限です。今からご入会されても秋に開催予定の研修旅行のご参加や、砺波市美術館企画展「ブラチスラバからやってきた！世界の絵本パレード」のご招待など、まだまだ受けられる特典にも間に合いますので、興味・関心のある方はどうぞご入会の手続きをしていただきますようお願い申し上げます。

また、会員の皆様には、友人・知人の方々をお誘いいただき、ご来館いただきますよう、お待ちいたしております。



砺波市美術館常設展 「林清納追悼展」

砺波市美術館学芸員 杉本 積

このたび常設展示室で、「林清納追悼展－横顔と視線」を開催します。

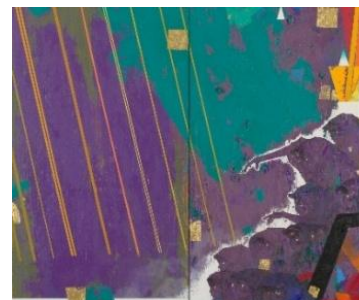
林清納（はやし・きよの）さんは1936年砺波市で生まれ、2024年10月に逝去されました。

ジャンルを超えたグループ「5人展」での果敢な挑戦や、富山美術連合会会長などを歴任し、後進の育成にも尽力され、富山県の洋画壇を長く牽引してこられました。当館では、2002年の郷土作家シリーズ展で大作を中心に個展を開催し、油彩25点、素描・水彩・パステル画30点を収蔵しており、当館の洋画コレクションの一角を成しています。

作品の多くは、林スタイルと呼べる、きらびやかで強い色彩の背景に女性像が組み合わされています。この女性像は、「死と生」の狭間で逞しく生きる強い眼差しに特徴があり、普遍的な存在として登場します。描かれた視線は、悠久の彼方を見つめているようにも、時には鑑賞者を見据えているようにも感じられます。

本展では、画面に登場する人物の横顔と視線に注目し構成します。常設展示室1では、2003年に発表し、その後当館に寄贈された素描・水彩・パステル作品から立像や座像を描いた作品を選びました。常設展示室2と3では、「インドの女」シリーズの油彩画作品群から右向き、左向きに描き分けられた「横顔」作品を選び展示します。

作者が描いた視線の先には、何があるのでしょうか。私たちは、彼女らの視線と自分の眼差しと重ねることで、彼が一生をかけて表現続けたテーマに思いを馳せることができます。これらを、追悼展を通じて広く皆様に鑑賞いただくことが、「画家 林清納」への追悼になることでしょう。



「インドの女 ガンガーシリーズ・鎮魂2」2006年

【会 期】7月31日（木）～9月15日（月・祝） ※休館日：8月5日（火）～8日（金）、25日（月）

【会 場】砺波市美術館2階常設展示室1・2・3

【観覧料】一般：210円 [170円]、高校生以下無料。[]内は20名以上の団体料金、65歳以上の方。

※なお、8月9日（土）～9月15日（月・祝）に開催されます「第32回中学生清流展」は観覧無料のため、常設展をご覧になる際は1階受付にてチケットをお求めいただく必要があります。

友の会会員の皆様には、常設展観覧券との引換券（一般会員2枚、特別会員4枚）を進呈させていただきましたので、1階受付にて観覧チケットと引き換えの上、ご覧ください。